

奈良市中心市街地の賑わいを考える・まちづくりワークショップを開催



テーマ

「まちの賑わい」・「観光のまちづくり」

- 日時● 平成 20 年 10 月 17 日～
21 年 2 月 20 日 延べ 4 回 開催
- 場所● 奈良商工会議所内 会議室

奈良市の中心市街地の賑わいを図るためにどうすればいいのか、活性化協議会は市内の商店主、まちづくり団体の関係者、会社員など 20 数名に参加して頂き、まちづくりをテーマに語り合う【まちづくりワークショップ】を行いました。「まちの賑わい部会」と「観光のまちづくり部会」に分かれ、昨年 10 月から延べ 4 回にわたって活発な意見交換が行われました。この程その成果がまとまりましたので、公表します。

この成果が、市・商業者を初めとする多くの関係者の参考になればと期待しています。

■「まちの賑わい部会」 ファシリテーター 出口巴幸氏

テーマ案の検討 → 4つの視点に集約 → カード化 → 具体的提案へと発展させた
(黒丸)

○3つのテーマ案

テーマ1 地元住民や市民に対する賑わいづくりをどうするのか。

- 空き店舗問題(後継者の不在、家賃の高止まり) ○高齢者の活動支援(交流の場づくり)
- 最寄業種の充実(スーパー撤退影響、スーパー出店効果)
- テナントミックス(必要業種の充実、チャレンジショップ)
- 安全安心のまちづくり(地域コミュニティの拠点) ○地域との連携(大学、自治会)

テーマ2 広域からの来街者に対する賑わいづくりをどうするのか。

- 古い街並み整備(ファサード等の支援策、歴史的な付加価値、昭和レトロ)
- まちの分かりやすさ(マップづくり、ならまちの区域) ○まち発見(まち歩き・路地裏ツアー)
- 面白い店づくり(団子屋など新しい店) ○着地型観光(世代やライフスタイル対応)

テーマ3 観光と商業の連携による賑わいづくりをどうするのか。

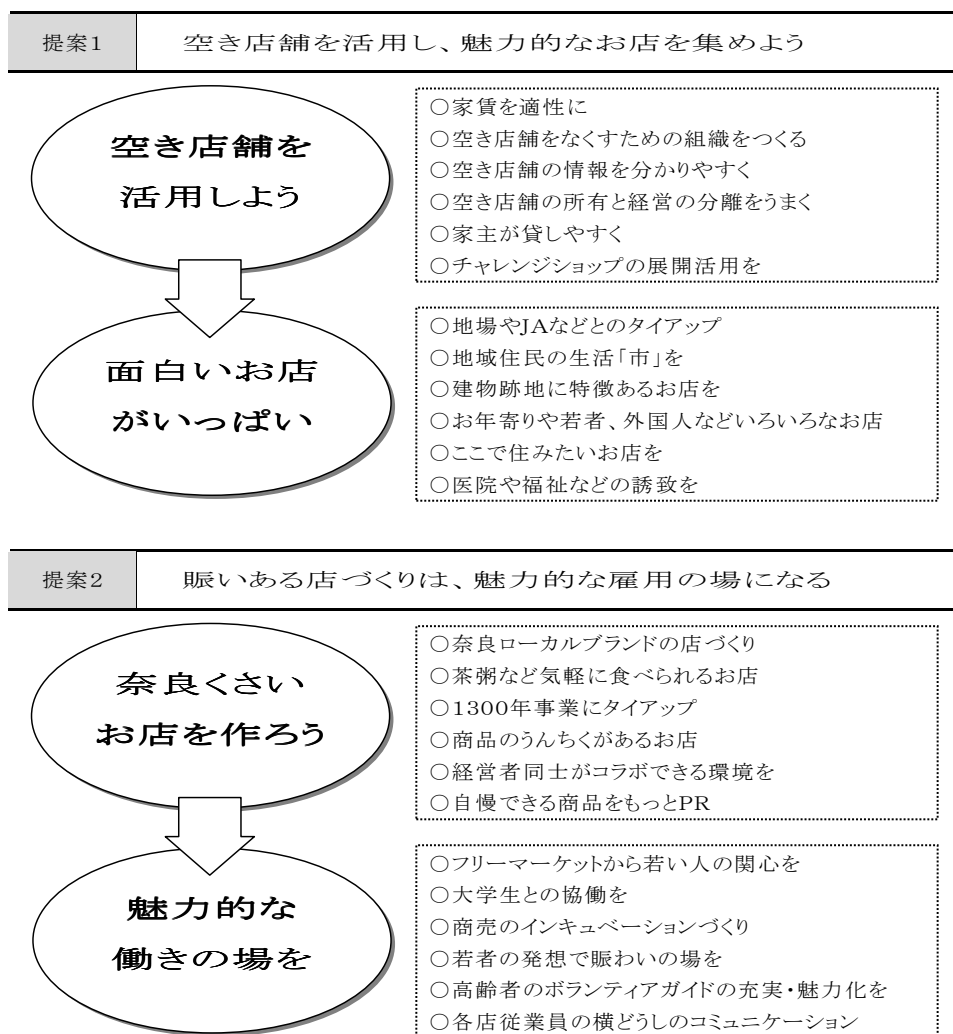
- 雇用の場(若者向け) ○夜も楽しく(閉店時間)
- 地元との交流(生活者アピール、意識) ○歴史や文化の維持・拡大(遷都 1300 年)
- 自動車対策(誘導、規制、駐車場、コミュニティバス)

○4つの視点

3つのテーマから4つの視点を選択、カード記載により意見を抽出。項目ごとに分類

4 視点	分類項目
テナントミックス	意識意義、方向・ジャンル
空き店舗	運営、情報と手段、イベント、チャレンジショップ
雇用の場	環境づくり、情報受信、情報発信、高齢者
店づくり	イベント、きびしい、情報、その他・場所づくり、奈良らしい店(奈良くさい店)

○提案の集約



奈良市中心市街地活性化セミナー開催される！

去る2月26日(木)、奈良県中小企業会館4階 大会議室に於いて、豊田商工会議所副会頭 河木照雄氏と東海大学教授 杉本洋文氏のお二人の講師をお招きして【奈良市中心市街地活性化セミナー -奈良市中心市街地の賑

わいのあるまちづくり-】を開催いたしました。当日の参加者は84名で、皆さん熱心に聴いておられました。今回のセミナーの詳細については、次回発行の「なら賑わい通信」第16号にて掲載させていただきます。

■「観光のまちづくり部会」 ファシリテーター 梅屋則夫氏

意見の発表 →意見集約とテーマの検討 →カード化 →取りまとめとチャート化 →提案

○意見集約

意見1 「観光で生きる奈良市」のコンセンサスが得られていない。

○国際文化観光都市を標榜するも、観光の位置づけとこれらの基本理念が共有されていない。

→行政も市民も事業者も

○奈良にとっての観光とは、基本的な中心課題であることの認識がなされていない。そのため、観光都市奈良の基本的な有り様や、方向性が明確でないため、中長期の戦略が出ていない。

意見2 そのため結果として観光に対する人の意識がまちまち（関心が希薄）

○観光事業者などのコミットメントの少なさと関与の低さ

○観光に対する市民意識のばらつきをどうする（観光客は迷惑？）

○観光は、観光事業者と行政のみが関与するものではない。根幹的な施策とするなら行政、市民、事業者（観光のみでない）、学生（若者）、文化諸施設（寺社等）あらゆる機関、階層の人たちが参画すべき →そこからもてなしも生まれる

意見3 奈良の観光で最も大切なのがソフトの整備と活用。

○奈良にとっての観光価値は、歴史文化資産だけでは不十分。景観、生活文化、人などあらゆる分野からのアプローチが大切。

○奈良の持っているふるさと性や素朴さ、そして人々の営みなどをどのように活かし、保全し、発信していくか。ソフトの価値をもう一度考える。

○「見る観光」から、学ぶ、体験する、歩く、食べる、買い物など「生活観光（まちなか観光）」へ。



2つの部会に分れての
ミーティング



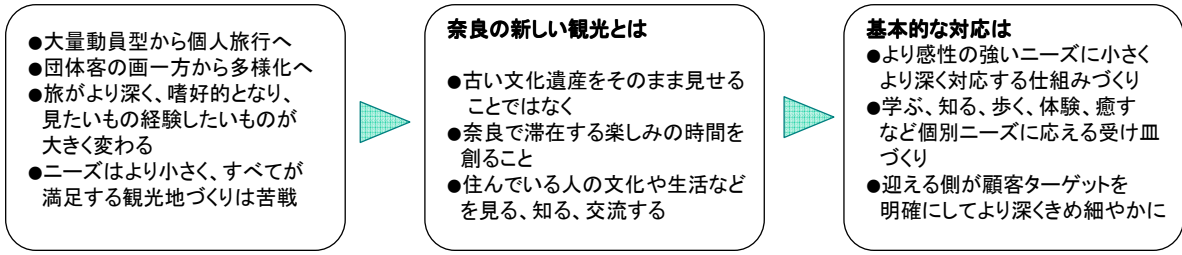
発表風景



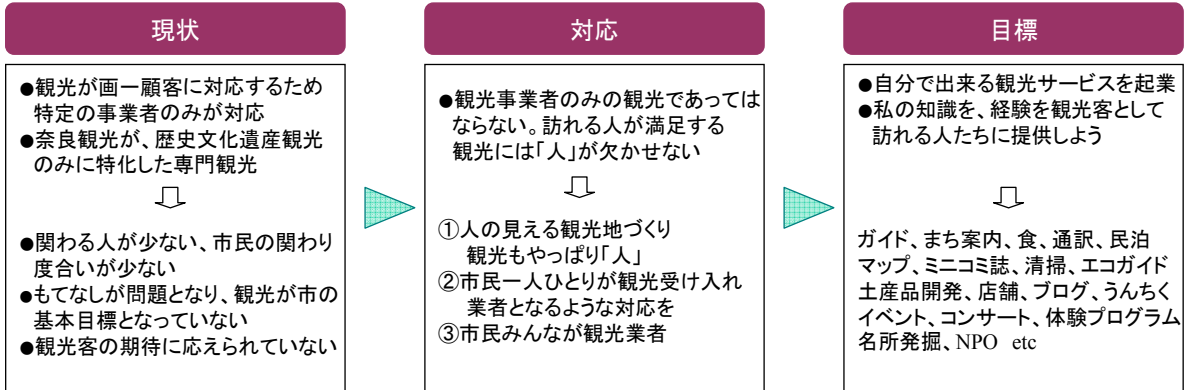
カードへの記入

○観光の提案

新しい観光ニーズと基本的な対応策は

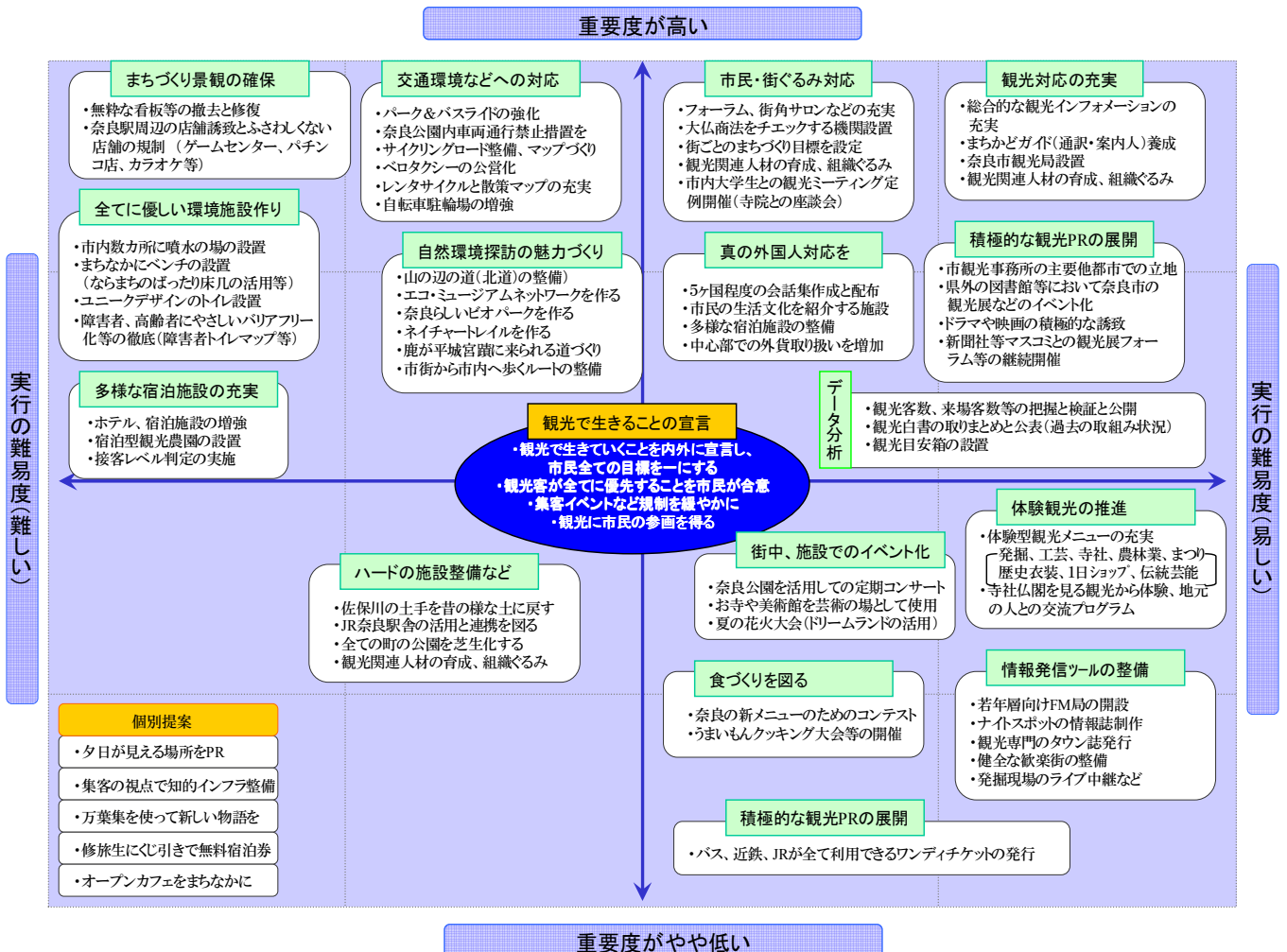


奈良市観光振興の決め手は、市民一人、ひとり



○参考（カード化）

奈良の観光発展戦略チャート



中心市街地で駐輪の実態調査を行いました(後編)



奈良市中心市街地活性化協議会では、昨年の9月に駐輪の実態調査を初めて実施し、その実態把握を実施いたしました。このほどその報告書がまとまりました。紙面の都合上、前号に引き続き掲載します。

2 調査結果の概要

3) 不足する台数は、近鉄奈良駅南側で 363 台

○ 中心市街地全体の駐輪場台数 3,909 台に対して、ピーク時の駐輪台数が 4,009 台とすると単純計算で差し引き 100 台の台数が不足している。つまり、正規の駐輪場を満杯にしてもなお、100 台が不足しているということであるが、駐輪場の性格から遠方が空いているからといって遠方の駐輪場に停めることは無理があるので最も利用がピークに達する月曜日の 15 時台について地域別に検討を加えた(次表参照)。

○ なお本稿では、①駐輪場でない場所での駐輪を「無断駐輪」、②無料駐輪場で収容数を超える駐輪を「はみだし駐輪」、③無断駐輪とはみ出し駐輪を総称して「不当駐輪」と呼ぶこととする。



ピーク時間帯(平日・午後3時)の利用状況表

地域	区分	箇所数	収容台数	20年9月22日(月)			利用率
				駐輪台数	不当駐輪台数	余剰台数	
JR奈良駅周辺	有料駐輪場	2	1,521	952	0	569	62.6%
	無料駐輪場	1	10	49	39	▼39	490.0%
	計	3	1,531	1001	39	530	65.4%
	無断駐輪	7		263	263	▼263	
	合計	10	1,531	1264	302	▼114	82.6%
近鉄奈良駅南側	有料駐輪場	3	1520	1552	0	▼32	102.1%
	無料駐輪場	6	218	434	216	▼216	199.1%
	計	9	1738	1986	216	▼248	114.3%
	無断駐輪	5	0	147	147	▼147	
	合計	14	1,738	2133	363	▼395	122.7%
近鉄奈良駅北側	有料駐輪場	1	630	578	0	52	91.7%
	無料駐輪場	1	10	27	17	▼17	270.0%
	計	2	640	605	17	35	94.5%
	無断駐輪	1		7	7	▼7	
	合計	3	640	612	24	28	95.6%
	総計	27	3,909	4009	689	537	102.6%

① JR奈良駅周辺地域

○ 地域全体で 1,264 台が駐輪されており内訳は、正規駐輪場に 1,001 台(79.2%)、無断駐輪 263 台(20.8%)。しかし、無料駐輪場のうち、容量を超える駐輪が 39 台あったため、不当駐輪台数は計 302 台となった。

○ このとき、有料駐輪場が 2ヶ所で利用率 62.6%であるため、これらを満杯に収容したとすると、まだ 267 台の余剰がみられる。つまり、JR奈良駅地域では二区に見合う正規駐輪場の整備がなされており、これらへの誘導が望まれる。

○ なお、無断駐輪の地域は駅西 143 台 (54.4%)、駅東 120 台 (45.6%) である。有料駐輪場利用率は JR 奈良駅西口駐輪場 61.6%、旧奈良駅舎前広場駐輪場 69.6% であり、地域的な理由ではなく、有料に停めることを敬遠している結果といえ、利用者のモラル向上を図らねばならないといえる。

② 近鉄奈良駅南側地域

○ 地域全体で 2,133 台が駐輪されており内訳は、正規駐輪場に 1,986 台 (93.1%)、無断駐輪 147 台 (6.9%)。同様に無料駐輪場のうち、はみ出し駐輪が 216 台あったため、不当駐輪台数は計 363 台となった。

○ このとき有料駐輪場の利用率は、102.1% と 100% を超えており、各施設とも収容能力以上の利用状況となった。したがって、この地域では、無料駐輪場の容量を超える 216 台と無断駐輪の 147 台の計 363 台が不足台数と判断される。

○ なおこれらの不当駐輪の状況では、無料駐輪場はみだし分 216 台 (59.5%)、無断駐輪 147 台 (40.5%) であり、無料駐輪場での不当駐輪が多く、管理面がとくに問題点として指摘される。



③ 近鉄奈良駅北側地域

○ 地域全体で 612 台が駐輪されており内訳は、正規駐輪場に 605 台 (98.9%)、無断駐輪 7 台 (1.1%) となった。同様に無料駐輪場のうち、はみ出し駐輪が 17 台あったため、当該地域の不当駐輪台数は計 24 台となった。

○ このとき有料駐輪場の利用率は 91.7% と、ほぼ満杯状態となっているが、不当駐輪台数が 24 台と極めて少ないため、数値的には 24 台の不足が指摘されてはいるが、施設整備面では充足されていると判断される。

4) 中心市街地における不当駐輪の実態

① 不当駐輪の地域別では、JR 奈良駅地域と近鉄奈良駅南側地域に集中し、台数では近鉄奈良駅南側地域がやや多く、とくに商業地域での不当駐輪が通行の妨げと景観悪化を招いている。

② 停められない地域での無断駐輪もさることながら、無料駐輪場での許容量を超えたはみ出し駐輪も約 40% を占め、管理面の課題も多い。

	無断駐輪	無料Pでのオーバー
JR奈良駅	263(7ヶ所)	39台(1ヶ所)
近鉄奈良南側	147(5ヶ所)	216台(6ヶ所)
近鉄奈良駅北側	7(1ヶ所)	17台(1ヶ所)
計	417台(60.5%)	272台(39.5%)
合計	689台	

③ 不当駐輪が最も多いのは JR 奈良駅西口およびもちいどのセンター街無料駐輪場などいずれも人目につきにくい通路などに多い。

不当駐輪集計表

順位	駐輪場番号	調査地点	不当駐輪台数	調査時間	
1	21	もちいどのセンター街駐輪場	121	日曜日	15:00
2	3	JR奈良駅西出口ホテル日航東側	106	月曜日	"
3	14	奈良ビブレ西側やすらぎの道沿い	92	日曜日	"
4	22	ならまちセンター南側	86	日曜日	"
5	9	三条通アミューズメント店前	79	日曜日	"
6	8	三条通旧ダイエー前南側歩道	58	月曜日	"
7	18	三条通三井住友銀行前	54	日曜日	10:00
8	4	JR奈良駅西出口デッキ下	49	月曜日	20:00
9	5	JR奈良駅東側ローソン前	39	日曜日	15:00
10	19	東向商店街ダイソー・パチンコマルハチ	38	日曜日	"